

正誤表

『喘息予防・管理ガイドライン 2021』（2021年10月8日発行、第1刷）に誤りがございました。下記のとおり訂正して、お詫び申し上げます。

2021年12月

株式会社協和企画

記

（表中敬称略）

頁	訂正箇所	誤	正
v	作成委員	福家辰樹 国立国際医療研究センター	福家辰樹 国立成育医療研究センター
	執筆協力者	※「執筆協力者」	齊藤律子 福井大学医学部附属病院集中治療部 重見研司 福井大学医学部附属病院集中治療部
7	(4)アトピー素因の存在	※参考文献2編(27、28)を追加 第1章 参考文献「27)→29)」以降を同様に文献番号(+2)変更	27)Takahashi D, Hizawa N, Maeda Y, et al. Arerugi. 2004; 53: 1071-8. 28)Tanaka J, Fukutomi Y, Shiraishi Y, et al. Allergol Int. 2021. 脚注として書誌情報を記載
11	(8)その他の検査	パルスオキシメーター	パルスオキシメータ
27	2-2 喘息死	(喘息死亡総数)1,480人	1,481人
41	表3-2 肺炎球菌	肺炎球菌ワクチンの喘息増悪に対する減少効果は明確ではない ³²⁾	参考文献番号 32) :削除
60	(6)動脈血酸素分圧(PaO ₂)・・・	パルスオキシメーター	パルスオキシメータ
99	表6-4 最下段 MF/IND 高用量	吸入用カプセル中用量 1日1回1カプセル	吸入用カプセル高用量 1日1回1カプセル
100	表6-5 脚注	UMEC:ウメクリジウム臭化物	UMEC:ウメクリジニウム臭化物
109	表6-7 脚注	*1:・・・安定期% FEV ₁ ≥70・・・	*1:・・・安定期%FEV ₁ ≥70%・・・
		*10:中等量ICSとの・・・	*10:中用量ICSとの・・・
110	(4)治療ステップ4 4行目	抗IL-5受容体α鎖抗体	抗IL-5受容体α鎖抗体製剤
111	4)未治療患者における治療ステップの選択	気管支拡張治薬	気管支拡張薬

118	第6章 治療 参考文献	39) Adachi ^a M, Kozawa ^b M, Yoshiue ^b H, et al.	39) Adachi M, Kozawa M, Yoshiue H, et al.
126	表 6-13	(増悪治療ステップ 3) アミノフィリン点滴静注併用可*4	(アミノフィリン点滴静注併用可*4(持続静注*7))*8
		0.1%アドレナリン(ボスミン)皮下注*6 使用可	(0.1%アドレナリン(ボスミン)皮下注*6 使用可)*8
		*1:・・・パルスオキシメーター・・・	*1:・・・パルスオキシメータ・・・
		*4:・・・ 捕 液薬・・・	*4:・・・補液薬・・・
		*7:・・・最初の点滴(*5 参照)後の・・・	*7:・・・最初の点滴(*6 参照)後の・・・
150	表 6-36	(4. モニター)パルスオキシメーター	パルスオキシメータ

・ 正誤表脚注

27) Takahashi D, Hizawa N, Maeda Y, et al. [Evaluation of antigen specific IgE responses in Japanese asthmatics and non-asthmatics]. Arerugi. 2004; 53: 1071-8.

28) Tanaka J, Fukutomi Y, Shiraishi Y, et al. Prevalence of inhaled allergen-specific IgE antibody positivity in the healthy Japanese population. Allergol Int. 2021 Sep 1;S1323-8930(21)00099-X. doi: 10.1016/j.alit.2021.08.009. Online ahead of print.

以上